

## ■福山市で想定される南海トラフ巨大地震について

南海トラフを震源とする巨大地震が生じた場合、津波が発生すると想定されています。

マグニチュード

福山市では最大

揺れ

**M9.1**

**震度6強**

**約4分間**

広島県内において、大きな被害をもたらす地震の一つとして、南海トラフを震源とする南海地震があります。過去に発生した南海地震は、いずれも東南海地震と同時、または東南海地震の発生後2年以内に発生しており、概ね100~150年周期で発生しています。

### ▶沿岸部において津波の影響が出るまでの想定時間



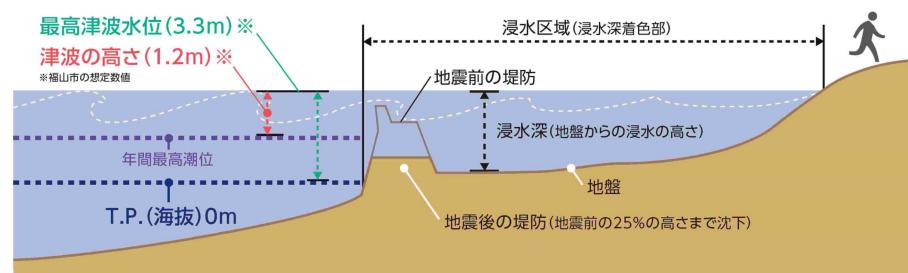
## ■ハザードマップの浸水想定について

このハザードマップに記載された浸水想定区域や浸水の深さは、広島県津波浸水想定（2013年3月作成）の内容を反映したものです。広島県では、発生すると甚大な被害を及ぼす「南海トラフ巨大地震」による津波を想定し、次のような条件を設定したうえでこの想定を行っています。

### 条件1 潮位が年間で最も高い時に津波（南海トラフ巨大地震による）が発生

### 条件2 堤防や防波堤は破壊され機能しない。（地震前の25%の高さまで沈下）

#### 沿岸部イメージ図



「海拔」T.P.（東京湾平均海面）からの高さのこと。

「津波の高さ（津波波高）」津波が来る前の潮位から実際に上昇した波の高さのこと。

「最高津波水位」潮位が年間で最も高いときに津波が発生した場合の海面の高さ（海拔）のこと。

## ■津波の特徴

津波はいくつかの特徴を持った災害です。

津波の特徴を知り、いざというときのために準備をしましょう。



- 岬の先端やV字型の湾内、入り組んだ海岸は津波のエネルギーが集中し、波が高くなる可能性があります。



- 津波は川を通り（遡上）、堤防を超えて陸地に津波が溢れる可能性があります。



- 第一波より第二波、第三波のほうが大きくなる可能性があります。



- 1~2mある津波は家屋が全壊、流失する可能性があります。



- 津波はガレキ等の漂流物を巻き込んで破壊力を増し、建物やときには防波堤さえも壊すことがあります。



- 20~30cm程度の津波でも立つていられなくなり、足をとられ波にさらわれる危険があります。



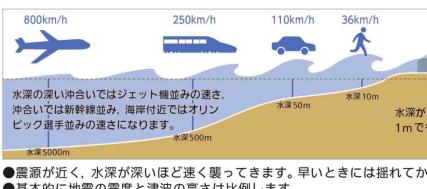
- 引き波の破壊力もすさまじく、陸で引き波にさらわれて沖に流されてしまうこともあります。



- 津波は繰り返し襲ってきます。  
地震後6時間（最大12時間）は注意が必要です。



- 津波は引き潮からはじまるとは限りません。



## ■過去の津波による被害（東日本大震災からの教訓）

東日本大震災のときに起きた津波災害から学ぶことで、私たちの命を守るヒントがあるかもしれません。  
特徴的な事例を学びましょう。



### 死亡者の過半数は高齢者

東日本大震災の死者のうち60歳以上の比率は64.4%と高齢者ほど死亡率が高くなっています。

津波からの避難は高齢になるとほど困難となり、自宅にて逃げ遅れたケースも少なくありません。

### 死因の9割は溺死

東日本大震災で亡くなった岩手、宮城、福島3県の人たちの死因の9割は、津波による溺死でした。

津波の水圧と水流、漂流物という三つの要素が大きな影響を与えていたと考えられています。



### 避難は率先して

津波が来ると知らされてもどこか人ごとに考え、近所の人たちもまだ避難していないし大丈夫だろうと避難のタイミングが遅れて被災してしまうケースがありました。  
自ら危険だと判断した場合は率先して避難をしましょう。



**津波てんでんこ**  
「自分の命は自分の責任で守れ」  
「てんでんこ」は「てんでんぱらばらに」の意味で、「人にかまわず必死で逃げる」という三陸地方の教訓。緊急時に災害弱者（子ども・高齢者）を手助けする方法などは、地域であらかじめ話し合って決めておきましょう。